

環境調査結果のお知らせ

平成29年7月27日9時から浦戸湾(高知市横浜・県漁協高知支所前岸壁)の環境調査を実施しましたので、結果をお知らせします。

水温・塩分(表1、表2)

湾内の水温は27.6~29.3℃で、前回調査時(H29.6.27)と比較して全層で3.4~5.7℃上昇していました。

塩分は17.7~31.7で、前回調査時と比較して表層から1m層及び底層で0.1~8.2上昇し、2m層で0.6低下していました。

溶存酸素量(表3)

湾内の溶存酸素量は3.7~7.1mg/lで、前回調査時と比較して表層及び底層で0.6~3.2mg/l減少し、1m層から2m層で0.1~0.8mg/l上昇していました。

透明度、プランクトン(表4、表5)

透明度は2.0mでした。

検鏡の結果、魚類に有害なプランクトンは確認されませんでした。

海面の様子や魚などの生物の異常がみられたときは、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして保存するとともに、直ちに水産試験場または中央漁業指導所まで連絡してください。

表1 水温(℃)

測定水深(m)	今回調査	前回調査(H29.6.27)	
			差(今回-前回)
0m	29.1	23.4	5.7
1m	29.3	23.6	5.7
2m	28.2	24.2	4.0
B-1	27.6	24.2	3.4

表2 塩分

測定水深(m)	今回調査	前回調査(H29.6.27)	
			差(今回-前回)
0m	17.7	9.5	8.2
1m	21.7	19.2	2.5
2m	29.7	30.3	▲ 0.6
B-1	31.7	31.6	0.1

表3 溶存酸素量(mg/l)

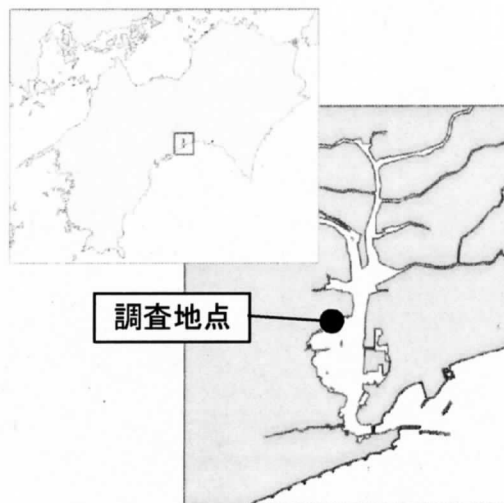
測定水深(m)	今回調査	前回調査(H29.6.27)	
			差(今回-前回)
0m	7.1	10.3	▲ 3.2
1m	6.2	6.1	0.1
2m	5.3	4.5	0.8
B-1	3.7	4.3	▲ 0.6

表4 水深・透明度(m)

	今回	前回
水深	4.1	4.2
透明度	2.0	2.0

表5 プランクトン(cells/ml)

測定水深(m)	ヘテロシグマ・アカシオ	プロロセントラム・トリエステリナム	アカシオ・サンガイネア	ジャイロディニウム属	珪藻類
0	0	0	0	2	21,700
1	0	0	0	4	18,700
2	0	0	0	4	15,400



漁業被害が想定される細胞密度  
・ヘテロシグマ・アカシオ:  
10,000~50,000cells/ml(魚類等のへい死)